

分野を代表する目標

**木材・木製品製造品出荷額等  
原木生産量**

出発点（H26）204億円⇒4年後（H31）220億円⇒6年後（H33）232億円⇒10年後（H37）256億円

出発点（H26）61万m<sup>3</sup>⇒現状（H27）59.2万m<sup>3</sup>⇒4年後（H31）78万m<sup>3</sup>⇒6年後（H33）81万m<sup>3</sup>⇒10年後（H37）90万m<sup>3</sup>

構築した川上から川下までの仕組みを生かして、  
“森の資源”を余すことなく活用



D材（端材等） **バイオマス利用**  
C材（低質材）

木質バイオマス  
発電所 2箇所  
(H27稼働)

B材（中質材） **ラミナ用材**

ラミナ工場  
(H28稼働)

集成材工場  
(H28整備)

A材（良質材） **建築用材**

大型製材工場  
(H25稼働)

**林業・木材産業  
クラスターの形成**

## 柱1 原木生産のさらなる拡大

○生産性の向上による原木の増産

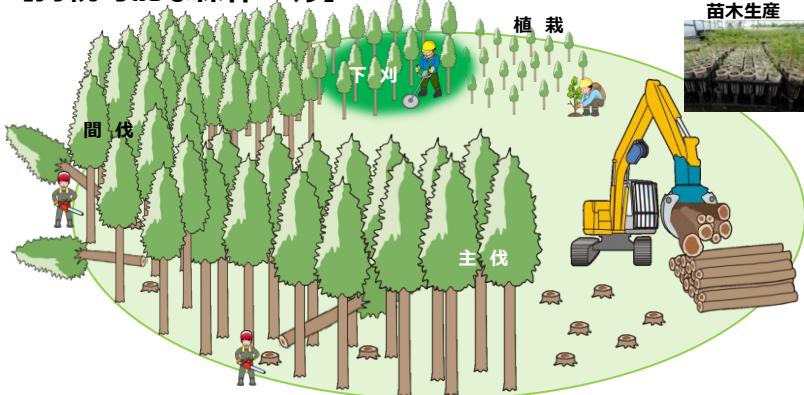
- ◆森の工場の拡大・推進
- [拡]・森林情報の精度向上（森林GISの機能拡充）
- ◆効率的な生産システムの導入を促進
- [拡]・高性能林業機械等の導入・整備
- [拡]・林道整備の促進に向けた協議会・WGの設置
- [拡]・森林組合の生産工程改善による生産性向上
- ◆皆伐の促進
- ◆原木の安定供給システムの構築



○持続可能な森林づくり

- ◆苗木の生産体制の強化
- ◆再造林への支援と低コスト育林の推進
- ◆間伐の推進

### 【持続可能な森林づくり】



## 柱2 加工体制の強化

○製材工場の強化

- ◆製材所の加工力強化
- [拡]・人材育成と設備整備の両面から支援
- [拡]・付加価値の高い製品づくり
- ◆県内企業による協業化・大型化の検討



○高次加工施設の整備

- ◆集成材工場の整備
- ・構造用集成材の生産
- ◆CLTパネル工場の整備

## 柱5 担い手の育成・確保

○林業学校の充実・強化

- ◆林業学校における人材育成及び施設整備
- [拡]・H30専攻課程の開設に向けた研修内容の充実
- ◆森林組合等の県内事業者への雇用促進



○きめ細かな担い手確保の強化

- ◆林業労働力確保支援センターとの連携
- [拡]・定期相談会の開催
- [新]・フォレストスクールの実施
- ◆移住施策との連携による担い手の確保
- ◆特用林産業新規就業者の支援

○事業者の経営基盤の強化

- ◆林業事業者のマネジメント能力向上
- ◆林業事業者における就労環境の改善

○小規模林業の推進

- ◆小規模林業の活動を支援

## 柱4 木材需要の拡大

○住宅・低層非住宅建築物における木材利用の促進

- ◆低層非住宅建築物の木造化の促進
- [新]・新たな木質建材を活用したモデル建築物の整備
- ◆県産材を活用した木造住宅建築の促進



○CLTの普及

- ◆CLT建築物の普及促進と需要拡大
- [拡]CLT首長連合と連携したCLT利用の促進

○木質バイオマス発電所の安定稼働

○木質バイオマスの利用拡大

- ◆木質ペレット等の安定供給の促進
- ◆幅広い分野での木質バイオマスボイラー導入の拡大
- ◆木質バイオマス発電の促進



『拡大再生産』の  
好循環へつなげ、  
中山間地域を元気に！



## 柱3 流通・販売体制の確立

○流通の統合・効率化

- ◆県外流通拠点を活用した取引の拡大
- ◆トレーラー等による低コスト・定期輸送の増加

◆外商活動体制の抜本強化



○販売先の拡大

- ◆県外での土佐材を使用した建築の推進
- ◆海外への販売促進

- [新]・CLT等輸出の可能性を調査
- [拡]・海外見本市等でのPR活動

